

ホーム名:グループホーム(しおかぜ4F)					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>意識付けとして、4階のEVホールに理念を掲げており、入社すぐの検温中に、理念に目を通す習慣をつけている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>・毎朝、磯路公園の住民体操に参加をして地域の方と交流、お互いに情報交換し踊りの発表会や展示会に誘って頂き参加している。</p> <p>・老人会館のカフェにも毎月参加し地域の高齢者と交流している。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>・地域運営推進会議にご家族や地域の方が参加され介護に対する不安や困りごとなど相談に乗っている。</p> <p>・介護について問い合わせの電話など丁寧に案内している。</p> <p>・地域の住民を集めての介護保険についてや、グループホームや小規模多機能の勉強会を開催した。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実情、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ひやりはっと・事故報告を行って一緒に対策を検討したり、地域の催し物を教えてもらって行事に取り入れられている。</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>・地域包括の職員さんには事故防止対策の助言をいただいたり、地域運営推進会議で相談に乗ってもらっている。</p> <p>・区役所の職員さんに入退院の報告や困りごとの相談にも乗ってもらっている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>・地域運営会議後は毎回身体拘束適正化委員会を設け、実際にフロアを巡回してもらい状況を見てもらっている。</p> <p>・グレーゾーンと思われる行動は、フロア会議にて必ず検討し、職員が納得出来るように徹底する。(例)お一人の入居者さんの食事のエプロン使用について、職員各々の意見を出し合い、使用しない事となった等</p>		
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>どのようなことが虐待・身体拘束にあたるのか職員会議の研修に取り入れている。</p>		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人制度を利用されているすべての入居者さんが障害の有無によって分け隔てなく、人格と個性を尊重し合いながら共生できるように支援している。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時や改定の際に、入居者ご本人及びご家族に丁寧に契約内容の説明を行い、同意を得ている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関にご意見箱の設置(今のところ何も入っていない)</li> <li>・ご家族との面会時や外出時に「何か気になる事はございませんか」とうかがい意見を頂いた場合は、上司に報告し、迅速に対応している。</li> </ul>		
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>毎月のフロア会議にて非常勤職員の意見を重視し、フロア内で改善できることは改善し、施設全体の改善が必要と思われる意見は、常勤会議にて議題に上げ改善している。</p>		
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理部と職場代表との話し合いの場を月1回設けている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>奨学金制度を活用して介護実務者研修の受講や認知症実践者研修・リーダー研修。生協の通信教育の受講なども職員に勧めていっている状況。外部への研修受講にも行ってもらっている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>介護連携介護を月1回行い、常勤職員が主に出席している。デイサービス、デイケア、ケアマネ、訪問看護の職員と意見交流や事例検討会を行っている。</p>		

## Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>普段の本人の言葉や会話をアイパットに記録として残し、本人の思いを知り、職員間で共有している。本人の意向を出来る限り実現していけるように周知し取り組んでいる。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>普段の面会時には、近況報告を伝え、その都度、細かな事でもご家族に報告している。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その方が使われていたサービス事業所と連携し必要なサービスを取り入れる。当法人の医師、看護師にも担当者会議に参加してもらう場合もある。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>掃除や調理、コーヒー入れ、おやつ作り、洗濯物干しやたたみは、入居者さんと一緒に行っている。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>感染対策で居室での面会は中止しているが、衣替えや居室の家具の配置換え、本人の部屋がどうなっているか定期的に様子を見たい家族には入室してもらっている。家族との外出もしてもらっている。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの店や、ご近所の方や、昔の職場仲間が集まる場所に散歩に行き昔話ができるように支援している。</p>		
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>できる限り食堂に集まって頂き、それぞれのお得意分野の役割を入居者同士で関わって頂いている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>初入居の方が入居中ですが、ご家族やお友達がいつでも気軽に立ち寄れる場所になっている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から会話の中で得た情報を記録に残し、本人の思いや好きな事を共有し実践している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	本人やご家族から聞き取りを行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態変化を観察し記録に残し、必要な時はフロア会議にて討議する。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、職員の思いと、主治医、看護師、PT,ST,鍼灸師等、多職種協働の専門的な意見も取り入れている。		
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録アプリの導入により、写真での記録や動画なども簡単に申し送りや経過の比較なども簡単にできるようになった。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・入退院時にご家族の都合で同行できない場合や、遠方への受診は車で同行援助している。 ・リハビリやマッサージが必要な入居者さんは、ご家族と相談のうえ、外部鍼灸院に出張施術をお願いしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の社会見学の受け入れや中学校の職場体験を受け入れている。神社のお祭り行事で獅子舞が施設に来た。初詣にも出かける。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・月2回主治医の往診 ・歯科は月1回の往診をお願いしている(治療が必要な方は、ご家族に報告相談し、往診にて随時治療している) ・主治医の指示や本人、ご家族の希望により眼科や皮膚科等の専門医の受診同行も行っている。		

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護は週1回健康チェックを行っている。必要な事柄は訪問看護から直接診療所に報告する。ご本人の精神的な状態もよく観察して職員と相談し支援内容を検討している。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は病院関係者と電話連絡や書面での報告などで情報を共有している。退院時は診療所の看護師も含めたカンファレンスを行い退院後も安心して暮らすことができるように努めている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時の重要事項説明と共に緊急時の書面に記載頂き同意は得て居りますが、終末期は早い段階から、ご家族(ご本人)、主治医を含めカンファレンスを行い、ご本人の思いに沿った方針に、施設できる対応を説明し、ご納得いただいたうえで支援させていただきます。</p>		
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ会議の際に事故発生への対応について確認している。夜間についても診療所の緊急連絡先があり、電話で相談することができる。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練では火災時の対応の仕方を学んでいる。その他、法人では月1回の無線機の使用訓練を行っている。津波避難施設となっており、階段には担架を設置している。</p>		

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>それぞれの人格や性格、認知症の症状の違いを理解し関わり方を考え、今できることを尊重し接している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>当施設の理念にもあるように、職員の判断ではなく、ご本人に意思確認をしご自分で判断をしてもらっている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>大まかな一日の流れはあるが、個々のペースに合わせた起床時間や食事時間で対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>衣類の選択や季節に合った衣類の交換などご家族にも協力して頂いている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>平日の昼食、夕食は配食サービスの調理品を入居者さんに好きに盛り付けて頂いている。 日曜日は一緒に買い物に行き、献立を考え皆で調理し食事を楽しめている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事摂取量や水分摂取量は、職員がアイパットに記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・月1回の訪問歯科チェック。 ・毎食後の口腔ケアを職員が介助し記録している。 ・毎食前パタカラ体操を職員が実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>アイパットにて排泄パターンを確認し、声掛けやトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分の促しや、おやつに果物やお芋など、週に2回は雑穀米のごはんをお出し、食物繊維の多い食材を使用し便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・入浴日は決まっているが、本人の希望に応じ変更も行う。 ・ゆず湯など季節を感じて頂ける工夫もしている。 ・個々に応じた、(持込シャンプー等)対応にて入浴介助している。</p>		

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>居室内の室温を快適に設定し、夜間はご自分のペースで過ごされている。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>誤薬を防ぐため、薬剤師さんが毎食後の服薬を個別に1包化にされており、職員が服薬、点眼、外用薬塗布の介助を行っている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>今までの生活や趣味が継続できるように支援している。</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>日々の散歩や買い物、地域の行事や花見、初詣に出かけ、年2回の遠足も大変喜ばれている。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族さんからの要望で買物に行った時など、ご本人が欲しがった物は立替購入し、月末にご家族に請求しています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話も快く取りつなぐ。 ご本人からご要望があれば、いつでもお掛けしている。</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常に清潔を心掛け、壁には毎月、季節感のある工作を入居者さんと作成し飾っている。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気に合う仲間同士で、会話ができるように席を決めています。 見守りの必要な入居者さんは職員の近くの席にする等配慮をしている。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で使い慣れた、布団や家具や小物を使用し、ご家族と一緒に配置を決めて居心地良く過ごせる工夫に努めている。</p>		
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室に表札(紙)を設け、自分の家として自覚して頂き、トイレなど間違えやすいところは表示を行い迷わずトイレに向かえる工夫をしている。</p>		

**V アウトカム項目**

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができていく (参考項目: 9,10,19)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目: 9,10,19)	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない